地域の誇りを学ぶ ふっつ学講座

ふっつ学講座のねらい（地域課題）

「富津市みらい構想」では、次世代を担う若者たちをはじめ、多くの方々に富津市に住み続けたいと感じてもらえるように、市が目指す将来像を「誇りと愛着を持てるまち　ふっつ」としている。本講座では市内の名所や歴史的遺構の見学、体験的学習などにより、郷土の歴史、文化、産業・観光などの理解を深めることで、市への誇りや愛着を持ってもらうことを目的として実施した。

海苔すき体験の様子

ふっつ学講座の内容

	日　時		テーマ	受講者数
第１回	9/12(金)	13:30～16:00	JERA 富津火力発電所の見学	25 人
第２回	10/18(土)	13:30～15:30	富津岬周辺の軍事遺跡についての講義	22 人
第３回	11/1(土)	12:00～15:30	鋸山の日本遺産への取組	22 人
第４回	12/20(土)	13:30～16:00	富津岬周辺の軍事遺跡の見学	22 人
第５回	1/17(土)	13:30～15:30	江戸前オイスターについての取組の講義	22 人
第６回	2/23（月・祝）	10:20～10:40	富津市に関する知識を問う「ふっつ検定」	15 人
第７回	3/21(土)	13:30～15:30	富津埋立記念館の見学と海苔すき体験	25 人

鋸山美術館で房州石の説明を受ける様子

富津埋立記念館の見学

参加者の声

第１回
・富津に長年住んでおり、風景として毎日見ていたが、実際に中に入り広さを実感できた。
・発電の仕組みがよく分かった。

第２回
・自分が住んでいる富津の江戸時代からの軍事遺構が少し身近に感じられるようになった。

第３回
・房州石の石切りは昭和で終わってしまったが、大事にし、町づくりに生かしていることが分かり良かった。

第４回
・地元のいつも行く所などでも見過ごしてしまっているところを知れて良かった。

第５回
・市の新しい特産を知る事ができた。従事されている方々の御苦労に対しありがたく思った。

第７回
・のりすき体験は人生初で心残ることでした。

※第６回はふっつ学受講者以外の方と一緒にふっつ検定を受講したため、アンケートを実施せず。

成果と課題

・参加者アンケートでは９割以上が「満足」と回答し、一定程度市への誇りと愛着の醸成に貢献できたと考えられる
・若者世代も参加しやすいように土曜日を中心に開催したが、ターゲット層であった若者世代の参加率の低さが課題となった。
・テーマにした地域が富津市の北部に偏ってしまったので、地域のバランスを考え改善していきたい。

富津市中央公民館（所在地：富津市小久保 3014 番地　電話：0439-65-2251）